

安らかな最期を支える為に ～『振り返り』みえる課題と現状～

(福) 静和会
特別養護老人ホーム 丸子の里

介護職員 熊切 千夏
介護支援専門員 竹原 益見

施設紹介

(福) 静和会
特別養護老人ホーム丸子の里
長期 80床 ショートステイ 20床

「認知症対応フロア」

「自立支援フロア」

「看取りフロア」



看取りフロアでの看取り介護

看取り介護を行っている。
H29年度は17名のご利用者の看取りを行った。



『振り返り』

担当介護職員が作成

各フロアに資料配布、
全体会議にて発表

発表後、各職員が感想や意見を述べる

思い出話＝次のケアに繋がっていない

具体的な取り組み1 『振り返り』の仕方を変更

フロア介護職員

相談員 看護職員
介護支援専門員 栄養士
施設長

看取り介護について
アンケート配布、集計

フロア会議で検討後、全体会議で報告

| 様 看取りケアについて | | | |
|--|-----|-----|-----|
| 性別: | 年齢: | 氏名: | 備考欄 |
| 1. 死くなった方について 以下のそれぞれの状態についてどのような対応をされていたのか特徴的なエピソードを思い出してください あなたは、この方について「どのような人」と思っていましたか。 | | | |
| 2. 看取り前の本人の状態について (1) 体調変化時のケア、対応について (2) 看取りプランの内容の難解とプランに沿ったケアができましたか? (3) 看取り前の本人の表情は? (4) 本人が安心できるよう工夫した事があるか?又その内容を自由に記載してください。 | | | |
| 3. 看取りのときの感想 (1) 看取りのときの感想について (2) 看取りプランの内容の難解とプランに沿ったケアができましたか? (3) 看取り前の本人の表情は? (4) 本人が安心できるよう工夫した事があるか?又その内容を自由に記載してください。 | | | |

| | | | | |
|--|------|---------|------|-------|
| 3. 亡くなった時、亡くなった後の状態について | | | | |
| (1) 看取りケアに関わっている間、又看取った後ご家族から聞いた言葉があればそのまま記入して下さい。 | | | | |
| 4. 看取りケアを自己評価して下さい。 | | | | |
| (1) あなたの視点から総合的にみて、この方への施設の看取りケアを5段階で評価して下さい。 | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 全く不十分 | やや不満 | どちらでもない | やや満足 | 十分 |
| (2) 施設で行った看取りケアについて、ご家族がどの程度満足されていたか、評価して下さい。 | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| とても不満 | やや不満 | どちらでもない | やや満足 | とても満足 |
| ※その状態に合わせて、施設の「いかに満足された言葉」を記入して下さい。 | | | | |
| <p style="border: 1px solid orange; padding: 5px;">アンケート実施回数 : 8回 配布人数 : 9名～19名 平均回収率 : 93 %</p> | | | | |

アンケート結果

*別紙参照

1. 「その方らしさを感じたエピソードについて
2. その方に合った看取りケアができたか？
3. 看取り期の本人の状態について
 - (1) 体調変化時へのケア、対応
 - (2) 看取りプランの内容と理解
 - (3) 安心できるよう工夫ができたか

アンケート結果

4. 亡くなった時、亡くなった後の状態

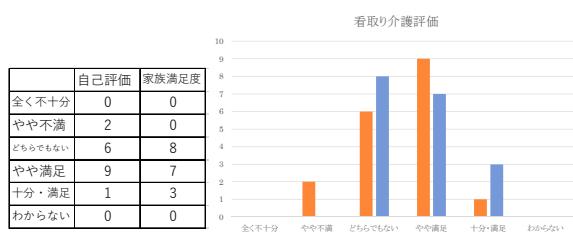
- ・看取り期にご家族から聞かれた言葉等

5. 看取りケアの自己評価

- ・自己評価・家族の満足度を各5段階にて評価

6. その他

看取り介護の自己評価・家族の満足度例



アンケート集計後の検討会から見えてきたこと

- ・良かった点
 - 職種間で共有できる情報が増えた
 - 家族の満足 = 職員の満足
 - ご利用者、ご家族からの「ありがとう」がモチベーションのアップへ
 - 『振り返り』時、他の職員からの意見をもらう事で自信に繋がった
- ・課題
 - 医療・看護との連携方法(視点の違い)
 - 看取り介護への理解や思いが、職員により異なる

具体的な取り組み2

看取り介護についての内部研修を開催

当施設の「看取り指針」に沿い、基礎から学び直してみた。



内部研修のGWから見えてきたこと

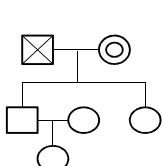
- ・看取りになってからでは遅い
- ・関係作り
- ・話し合いの機会を作る
- ・柔軟な対応
- ・自分だったらという、立場を変えた考え方
- ・職種による視点の違いの理解
- ・介護者側のケアの見直し
- ・誇りの持てる仕事をしている事を再認識した

内部研修の様子



具体的な取り組み3 家族の思いを知る

揺れ動く家族の気持ちに寄り添う。
*A様御家族について



取り組みの結果と評価

- ・看取り介護に関する疑問と改善点の共有
- ・家族の思いに沿った対応を行う
- ・職員や家族の要望・満足度の共有
- ・内部研修の結果…
「職種による視点の違いを理解できた」
「自分が受けたい介護を考え支援に繋げていこう」という
気持ちになった。
- ・個々の看取りの中で、できた事が自信につながる

取り組みに関わり、入職3年目の介護職が思う事… (認知症対応フロア→中重度ケアフロアへ異動)

- ・訴える事の出来ないご利用者に対して、どんな声かけが
良いのか?どんな対応が正解なのか?
- ・反応が少ない為、状態変化が分かり難い
- ・家族との関わり「面会時の対応」
- ・フロアに活気がない
- ・全く違うフロアへ来た不安…
- ・他フロアとの連携

取り組みの後入職3年目の介護職員が思う事… (認知症対応フロア→看取りフロアへ異動)

- ・フロアに活気がない、全く違うフロアへ来た不安…
- ・訴えの少ない利用者に対して、どんな声かけが良いのか?
どんな対応が正解なのか?
- ・反応が少ない為、状態変化が分かり難い
- ・家族との関わり「面会時の対応」



今後の課題

私が受けたい「看取り介護」を行う為には…

- ・看取られ方は個人によりそれぞれ異なる
- ・看取り介護になってから慌てても遅い
- ・家族との関係作り

安らかな最期を支える為に…

ご清聴

ありがとうございました



【参考資料】
東京都健康長寿医療センター研究所
福祉と生活ケア研究チーム 終末期のあり方 島田千穂